

広
報

あいあい

第74号

令和6年11月15日

発行：西原地域コミュニティ協議会

TEL/FAX：028-635-7139

西原地域コミュニティセンター内

心いれあう福祉のまちづくり 西原地区敬老会



★敬老会5年振りの式典

9月8日10時より、西原小学校体育館において、5年振りの敬老会式典が行われた。コロナによる中止の他、大掛かりな体育館の補修工程が終わったことで、従来通りの式典を行うことができた。

今年度の敬老会対象者は全部で1181名。その内75歳の新敬老者は62名。100歳以上は全国ではなんと9・5万人もおり、最高齢は115歳だそう。西原地区では、100歳が3名、101歳2名、102歳、103歳、105歳が各1名で合計8名という。きんさん、ぎんさんの頃とは、隔世の感がある。それぞれに花束が贈られた。

式典の進行や案内はYCCの中高生が行い、受付は民生委員や福祉協力員が担った。新敬老者の挨拶は丸山哲夫さん。

式典後のアトラクションはフラダンス「ナリーヒネ オ カレイカウマカ」の踊り。ハワイアンのせいか夏の暑さを感じた。

最後に新敬老者の記念撮影をして、無事終了となった。

主な内容

2P 第4回花火大会

体育祭

3P 合同防災訓練

古を訪ねて





中村会長は「防災意識向上と訓練参加者増員など、次年度に向けて改善点など検討したい」と話した。



最後に消防局より体育館でLive119の説明を受けた。通報から救急車到着まで動画を通して対応を指導してもらえシステム。「こうした技術の進化が救命率アップにつながるが、やはり人力が最重要、周囲に助けを求め協力し合うこと、日常的な顔の見える街づくりが大切」との話で訓練を終えた。



10月23日、地域の防災訓練と西原小学校が行う避難訓練を合同で実施した。西原地区では初めての企画で地域住民は30名程が参加した。西消防署と消防団第2分団の協力で、消防車4台と救急車と全国に4台しかないVR車が校庭に並んだ。

★西原地区 合同防災訓練



8月17日、西原地区花火大会が開催された。大会準備中に降りしきっていた雨も花火が打ちあがる頃にはやみ、水溜まりのある校庭に多くの住民が詰めかけた。250発の花火が打ち上げられた。夜空の頭上に広がる煌めく大輪の迫力に、「たまや!」と声がかかり拍手が湧いた。30分の贅沢な時間は、地域の皆様の協賛金、警察、消防、各協議会の方々のご尽力のたまものだ。スタッフの皆様、雨の中の準備、あとかたづけ、大変お疲れ様でした。



★第4回 花火大会



★第63回西原地区体育祭

西原地区体育祭が10月13日、西原小学校校庭で晴天の下、盛大に行われた。11団体、13自治会、約350人が参加した。新種目が加わった。高齢者でも参加しやすく、大きなシートの上でソフトバレーボールを使った「飛べ飛べボール」小学生には障害物競走。校長先生の実況中継が会場を沸かせた。体を動かし、競い合い、励ましあい、笑い、地域の楽しいコミュニケーションの場となった。

*上位入賞 成績	
1位	花房本町 76点
2位	陽南東部 70点
3位	十三町 66点
菊水西部	66点



いにしえ 古を訪ねて

大根田 甫さん 光子さん

西原二丁目



大根田甫さん(84)は昭和29年創業大根田精肉店の2代目店主だ。妻の光子さん(81)と昭和40年に結婚した。長嶋茂雄さんの結婚式の翌日だったそうだ。当時の佐野街道は八百屋、魚屋、たばこ屋などが軒を連ねる商店街だったが、今はもう、その面影はない。

「大長のメンチ」は地域のなじみの味だ。宇都宮工業高校があったころには店の外まで客が並んだ。近年は西原小の「町たんけん」の授業で、揚げたてコロッケのサービスがある店として生徒に人気のスポットだ。

甫さんは今も毎朝8時半には納め先の配達に向かう。戻ると揚げ物の仕込みをする光子さんを手伝う。6年前に光子さんが大病を患ったときも、近くに住む長女の手助けもあり、お客さんに迷惑はかけられないと店を休むことはなかった。

フライヤーに火が入ると「油に気を付けてね!」と優しく声をかける甫さん。「のれんの向こうではいつもケンカなのよ!」と笑う光子さん。背中が丸くなってもお互いを気づかいながら働く姿は仲睦まじく微笑ましい。客がくると「いらっしゃい!」と元気な声が弾む。

元気なうちは頑張ると60年の長きに渡り、地域に愛される店「を守り築いてきた二人の軌跡は輝いている。」

あいあいサイト

行事予定

- ・地域PTA文化祭
11月24日
- ・コミセン作品展
11月23日・24日
- ・どんど焼
令和7年1月12日
- ・ふれあい福祉まつり
令和7年1月

文化祭模擬店で「宮パスカード」を提示すると
もち 400円→300円
鮎の塩焼き 400円→300円
サービス

この日は十三夜。少し雲もかかっていたが肉眼でも月の横に土星が確認できたという。交代で望遠鏡を覗くと月のクレターや土星の輪が見えたと大喜び。保護者からも、天体に興味を持つ良い機会、また開催してほしいとの声もあがっている。

また、10月5日にはわかば会（放課後児童クラブ）と共催でコロナ以前も実施していた「お月見だんごを作ろう」を開催。子どもたちは、自分で丸めた団子を、みんなで味わった。古来の風雅な季節行事、楽しみつつ次世代に伝えていきたいものだ。



にしはらこどもくらぶ（放課後子ども教室）では、10月12日西原小学校庭にて地域の「星の先生」片寄一男さんを講師に、初めての企画「天体望遠鏡で月を見よう」を開催。30組の親子（子ども35人）が参加した。



昨年10月に集会所を開設した花房本町自治会では、11月3日に1周年記念事業が行われ、地域の人が大勢集まった。会場を使つての教室が増えている。

9月からは、マージャン教室が始まり、12人の生徒が集まった。瀬在花房一丁目自治会長の指導でおしゃべりを楽しみながら手指や頭を使うマージャンは脳トレになっているようだ。

◆脳トレ(?) マージャン教室

◆放課後子ども教室で「お月見」

●趣味ゆうゆう

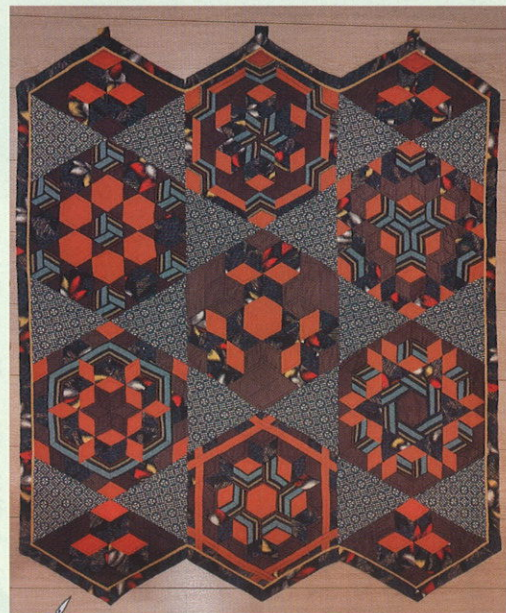
パッチワーク
加藤史子〈新町下組〉



テーブルセンター (54×120)
ハワイアンキルト (60×60)



クリスマスバーストリー (60×60)
サンタとブーツの飾り



和布の玄関マット
(120×100)

《あとがき》この夏も身を守ることを優先するほどの酷暑だった。この時期の庭の雑草には、お手上げだ。だが今年は春先から芽を出すトレニア（夏すみれ）を庭のそこここに植え替えてみた。すると雑草をしのぐ勢いで庭一面に広がりトレニアのお花畑になった。その涼しげな色に暑さを和らげてくれるように感じた。(〇)